

『動労千葉支援基金』設立の全国的大カンパ運動よびかけらる！



81.3.27

No. 700

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)四五七(七)二七〇七

資料

動労千葉一三〇〇名、その持てる全ての力をあしひたし投入して立ちぬいだす労働連帯の決戦ストライキ闘争は、三里塚闘争の歴史的勝利への突破口を切りひらくとせに、今日、右傾化の波にのまれる日本労働運動の中にあって「すでに久しく喪失されてきた人民の抵抗の原点を復権するもの」として全人民の魂を衝動的にゆさぶっている。政府・当局による大量報復弾圧処分攻撃を切迫する情勢の中で「動労千葉」は、燃料輸送阻止闘争支援基金」が20名のよびかけ人によって設立されたので紹介します。

動労千葉のストライキにさいして『動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金』の運動を訴える

国鉄千葉動力車労働組合は、成田空港へのジェット燃料暫定貨車輸送期間の期限切れを迎えて、国鉄当局による輸送業務延長の強要を拒否し、二月下旬から三月初めにいたる一六日間、当局のスト破り助役機関士導入にたいする抵抗にはじまって、五日間のストライキに起ちあがり、二四時間の全線全面ストライキによる最大限の実力行使にいたる果敢な闘争を敢行しました。動労千葉一、三〇〇の労働者が一人の落伍者もなく、打って一丸となつてたつたこのストライキは、いま三里塚農民の頭上にかかる成田空港二期工事の強行着工計画に強力な衝撃をあたえるものであり、三里塚廃港への道を大きく切りひらくものであるといえるでしょう。

日本の労働運動は、すでに久しく、人民の抵抗の原点を喪失して、企業内賃金要求のみならずからとじこめる運動に終始してきました。その結果、労働組合の運動は、資本の圧力に屈して、とめどもなく進められる合理化攻勢に歯止めをかけることもできず、かえってそれに迎合する姿勢をあらわにし、しかも今日では賃金の要求さえも実現しえず、労働者の実質賃金低下傾向にたいして、大衆の不满をたかいたに組織しようとするものもない状態にあります。これは、大衆的実力行動を封じこんで、資本金との談合のみを事とした組合運動がみずから招いた不可避的な結果であります。

そういうなかで、いま、日本の軍事大国化を実現しようという動きが、政府当局者によって公然とおし進められています。徴兵制、核兵器保有、武器輸出も、政府・財界から、公然と声があげられはじめています。(中略)これをそのままに見過していいはずはありません。民衆のなかに不安の声がたかまわってきています。その先頭にたつて、有効な抵抗の行動を組織的に展開しようのが労働運動であつたはずで、民衆のなかに、労働運動にたいする期待はいまも根強く持続しています。だが、権力と資本のつくる秩序にみずから組みこんでしまった今日の既成の労働運動に、いったい何が期待できるのでしょうか。動労千葉が、三里塚農民に連帯してたつた今回のストライキは、そのような労働運動の現状において、人民の苦悩を一身にならうあるべき労働運動の方向を、組織をかけて全国の労働者・人民にさし示したものとすべきでしょう。ジェット燃料輸送阻止を組合の重要な目標の一つとする動労千葉は、燃料輸送開始を強要された七八年三月以来、数次にわたるストライキ・減産闘争を敢行し、その都度組合幹部の免職を含む多数の懲戒処分にあたってきました。

今回の闘争は、かならずや、動労千葉にたいする報復攻撃を、一段と強めるでしょう。当局は、組合指導者にたいする大量の報復処分という挙に出ることでありましよう。(中略)

私たちは、八〇年代の労働運動の戦闘的再生の願いをこめて、動労千葉にたいする不当処分に反対し、ジェット闘争を支援する多くの人びとによって動労千葉を財政的に支える運動をよびかけます。この運動を、「動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金」と名づけます。全国の心ある人びとによって、それぞれの貧者の一燈を無数に寄せられんことを、切に期待します。

※裏面に、本基金の「規約」と「拠金要綱」の資料を紹介

よびかけ人

一九八一年三月

- | | | | |
|-------|-------------------|--------|---------------------|
| 浅田 光輝 | 動労ジェット闘争支援共闘会議世話人 | 武谷 三男 | 物理学者、安全問題研究者 |
| 石田 有全 | 元全日農委員長 | 永井 満 | 淡路国際空港淡路町反対期成同盟代表 |
| 石橋 政次 | 三里塚芝山連合空港反対同盟委員長 | 西村 卓司 | 三菱長崎造船労働組合副委員長 |
| 市川 誠 | 元総評議長 | 長谷川 英憲 | 杉並区議 |
| 井上 正治 | 九州大学名誉教授 | 羽仁 五郎 | 歴史家 |
| 岩井 章 | 元総評事務局長 | 樋口 篤三 | 『労働情報』編集長 |
| 北原 敏治 | 三里塚芝山連合空港反対同盟事務局長 | 前田 俊彦 | 三里塚「廃港」要求宣言の会 |
| 佐藤 芳夫 | 全造船石川島分会委員長 | 増山 太助 | 「新地平」主幹 |
| 清水 慎三 | 労働運動評論家 | 八重樫 友美 | 全金本山労働組合委員長 |
| 高島喜久男 | 労働運動評論家 | 横山 好夫 | 全石油ゼネラル石油精製労働組合事務局長 |

(アイウエオ順 三月二一日現在)

3月決戦スト貫徹万歳！ 動労千葉は闘うぞ！



3月2日～6日の5日連続ジェット燃料スト貫徹の上に、堂々とうちぬかれた3.6総武全線ストは、全日本を揺るがし、心ある全人民の感動と決起を鮮烈によびおこしていた。わか動労千葉は、勝利の地平をのみ固めて、「オ2、オ3の三月決戦闘争」めざし、更に前進を続ける。勝利はわか手にあり！（3.6津田沼電車入口でのスト貫徹合同総）

資料

一九八一年三月十八日 よびかけ人による設立のための会議で採択

動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金 規約

- 第一条 本基金の名称は「動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金」（略称「動労千葉支援基金」）とする
- 第二条 本基金の目的は動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争の犠牲者を救済することにある。ただし、第五条に定める幹事会が決定した場合に限り本基金を動労ジェット燃料輸送阻止闘争に支出することができる
- 第三条 本基金の財源は動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争を支援する全国のあらゆる人びと、グループ、団体による一時拠金と毎月の定額拠金とをもってまかなう。その拠金の細目は別に定める
- 第四条 本基金の会員は、第三条に定める拠金を行う人びと、グループ、団体とする
- 第五条 本基金の管理運営は、幹事会が行う。幹事は本基金のよびかけ人のなかから互選する。幹事会は幹事によって構成し代表幹事一名を置く
- 第六条 本基金の会計監査は、国鉄千葉動力車労働組合の会計監査員に委嘱する
- 第七条 幹事会のもとに事務局を設ける。事務局は千葉県千葉市要町二一八動力車会館内に置く
- 第八条 本基金の収支は、会員に報告する。なお、拠金者の秘匿は保障する
- 第九条 この規約の改廃は、幹事会において行うことができる

資料

動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金 拠金要綱

- 一、一時拠金は一口一万円とします。一人につき一口以上できるかぎり多くの口数の拠金を切望します
- 二、毎月の定額拠金は一口一千元とします。一人一口以上の拠金を歓迎することは右と同様です。毎月の月末までに払いこんで下さい
- 三、一人一口以下でも歓迎します
- 四、個人による拠金のはかにグループ、団体ごとの一括による拠金の方式もおすすめます
- 五、拠金の払いこみ先は「千葉県千葉市要町二一八動力車会館内 動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金事務局」です
- 六、払いこみの便宜のために振替口座を開設します
- 七、希望のある場合には領収書を発行しますので、その旨お申し出下さい
- 八、その他拠金についてのお問い合わせは、右の事務局あてにお願いたします

大量報復処分攻撃粉碎・全国大カンパ闘争勝利 を通し、三里塚ジェット闘争の歴史的勝利と日本労協 運動の戦局的再生をかちとろう！



車の両輪=反対同盟と動労千葉を包んで全国からありとあらゆる
闘争仲間が千葉に総結集して、「動労千葉3月決戦スト」を不眠不
休で支え闘った。（1981年3月1日、成田市市営駐車場で開催され
た動労千葉支援全国総決起集会）